

1. 基礎情報

自治体名	栃木県鹿沼市
部署名	市民部地域活動支援課
電話番号	0289-63-2241
メールアドレス (※は@に変換してください)	katsudou ※ city.kanuma.lg.jp
ホームページ	https://www.city.kanuma.tochigi.jp



日本語教室

在留外国人数	令和3年2月現在	1,492	人	住民基本台帳人口に占める割合	1.6	%
うち、在留資格別上位3種類の人数及び在留資格名	1位 (技能実習2号口)	457	人	2位 (技能実習1号口)	95	人
				3位 (技術・人文知識・国際業務)	90	人
うち、国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名	1位 (ベトナム)	825	人	2位 (中国)	174	人
				3位 (フィリピン)	85	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	意識啓発と社会参画支援
小分類	多文化共生の意識啓発・醸成
取組のポイント	かぬま多文化共生プランの策定
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2011年2月に策定、同年4月からスタート。第1期計画(2011～2016年)、第2期計画(2017～2021年)。第3期計画を令和3年度中に策定予定。 ・策定にあたっては市民、企業、関係団体等と行政が協働して策定委員会を開催し、内容の調整等を実施。策定後は策定委員会を中心にプラン推進委員会を立ち上げ、多文化共生講座の開催やプランの進捗管理等を実施。 ・多文化共生講座は毎年、推進委員を中心に手作りの講座を実施。外国籍市民や関係団体、一般市民などを対象に、講義やグループワーク等を通して交流し、多文化共生に関する理解を深めるとともに「多文化共生の地域づくり」を推進する。 ・第2期プランでは防災意識啓発についても重点事業とし、地元自治会を巻き込んだ避難所体験講座や、災害時外国人サポーター養成講座などを実施している。

大分類	コミュニケーション支援
小分類	行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備
取組のポイント	多文化共生コミュニティセンター「コミニエテ」の運営
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍市民も日本人市民も誰もが気軽に相談したり、話をしたりできるような多文化共生の地域づくりの拠点施設として、市国際交流協会が中心となり運営。 ・令和2年度からは外国人受入環境整備交付金(法務省)を活用し、一元的相談窓口として、相談員の増員及び翻訳機の導入による対応言語の増加など、体制を強化。 ・日常生活情報の提供のために、毎月発行の市広報誌より必要記事を抽出して多言語(英語、中国語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語)に翻訳した多言語版広報誌を毎月作成し、市内在住の外国籍市民に発送。合わせて市HPでも周知。 ・日本語教室を、市国際交流協会が各ボランティア団体と連携して実施し、日本語を教えるだけでなく、ごみの出し方や各種制度など日本社会での生活ルールを学ぶ場としても重視している。また、日本語教室ボランティア養成講座を毎年実施。